

印西市認知症初期集中支援チーム検討委員会と 印西市在宅医療・介護連携推進会議の合併について

1. 印西市認知症初期集中支援チーム検討委員会と印西市在宅医療・介護連携推進会議について

<初期集中支援チーム設置の趣旨>

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援する

認知症の者やその家族に対して、早期に関わり、早期診断および早期対応に向けた支援体制を構築するため支援チームを医療機関に配置する

初期集中支援チーム検討委員会で意見交換及び検討を行う事項

- ◎ 支援チームの設置および運営に関すること
- ◎ 支援チームの活動内容に関すること
- ◎ 関係機関の連携および支援に関すること

<印西市在宅医療・介護連携推進会議の趣旨>

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、保健・医療・福祉の関係機関が連携して在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築を推進する

印西市在宅医療・介護連携推進会議で協議及び検討を行う事項

- ◎ 在宅医療・介護に係る連携に関すること
- ◎ 地域の医療・介護の把握、情報共有に関すること
- ◎ 在宅医療・介護連携の現状把握と課題の抽出、解決策等に関すること
- ◎ 在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発に関すること
- ◎ その他在宅医療・介護連携体制の推進に関すること

2. 合併を検討する理由

初期集中支援の目的は、認知症の者やその家族に対して早期に関わり、早期診断および早期対応に向けた支援体制を構築することである。また、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるための体制を整える役割を持っている。

早期診断から支援体制を整えるまでの支援チームの活動は、いわば医療と介護を連携させるものであり、初期集中支援チーム検討委員会で検討される内容は、在宅医療・介護連携推進会議の中で検討されることと重複する部分がある。また、支援チームでの活動内容（実例）を検討することで、医療と介護の連携についての課題や解決策を検討しやすくなり、医療と介護を一体的に提供できる体制を構築することに寄与できると思われる。

以上の理由から、印西市認知症初期集中支援チーム検討委員会と印西市在宅医療・介護連携推進会議の合併を行いたいと考える。